

日刊 動労千葉

79.2.1
No. 22

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八〇九（公衆）四七三二七二〇七

本部へ
1400の意見を
中央本部へ
もって申し入れ

地本闘争委員会は、カ8回支部代（カ8）において出された多くの意見・発言を受けて、カ付中央本部に併せて「千葉組織カ26号」をもつて申し入れを行なった。以下の四点にわたる申し入れは、動労と

動の戦場的発展をめざすための当然の要求である。一部反動分子の理不尽な暴力から、ゆが職場と組織、生活と権利を守り、「正しいことは正しい」と言える組合・心から団結しあえる動労を復権していくため、今こそ一四〇〇名は力を合わせ「動労大改革運動」に起ろう。

動力車千葉組織カ26号

この間の中央本部の組織指導に関する千葉地本の態度について

この間の千葉地本に係る中央本部の組織指導は、明らかに規約規則・株家の運営ルールを無視・逸脱したものであり、断じて容認することはできません。千葉地本は、かかる重大な事態に対し、動力車千葉組織カ18号（78.12.12付）、さらには、12中央本部・千葉地本三役・組織部長会議において、具体的事実にもとづき嚴重に抗議することにも、中央本部の毅然とした組織指導を要請したところであり、今日に至るも明確な本部見解がうち出されないばかりか、東スロック組織部長会議における城石組織部長の首領による「千葉地本再建のため団結ガンパロー」にみられるように、事態はますますエスカレートする傾向にあります。

千葉地本は、こうした憂慮すべき事態を放置したまま、いかに交友会議、交友オルグ、さらには各種会議をつみ重ねようとも、事実上動労組合員という共通の基盤がない現実のなかでは、全く無意味であるばかりでなく、解決をより困難にするだけであると判断せざるを得ません。

千葉地本は、以上の態度を明確にすることも、1月29日開催されたカ8回拡大支部代表者会議（各支部長と地本大会代議員55名出席）の決定にもとづき、次の各点について申し入れますので、文書をもつて回答されたい。

記

一、カ24回全国青年部長会議における千葉地本に係る決定事項は、規約違反であることを明確にし、その具体的発動である関東青年部発カ11号（78.12.15付）の回収と今泉関東地評議長、同村上青年部長に対する組織統制の処置ならびに動力車新聞一二六六号（78.12.27付）の撤回と訂正、謝罪記事の掲載。

二、「千葉地本は敵対矛盾である」「裏切り者には自由はない」とする青木書記長発言の撤回と自己批判。

三、東スロック組織部長会議において、「千葉地本再建のため団結ガンパロー」なる首領をとった城石組織部長の謝罪と自己批判。

四、青年部学習文庫No.2「千葉問題の本質的解決のために」の全面回収と謝罪。

以上

本部は組織指導の原則にたかえれ！